

第17回オンライン研究会

12月18日(土)15:30-17:00

参加者
募集
(無料)

自治体のこれからのオープン データと活用事例

<講師>

喜多耕一さん 北海道総合政策部次世代社会戦略局DX推進課 係長
1989年 林業技師として入庁し、その後、主に森林土木の設計、監督など
2010年ころからオープンソース GIS に目覚める
2014年ころからオープンデータに目覚める
2018年～2020年 道庁総合政策部情報統計局情報政策課
2021年～ 現職

オープンデータは、公共データを二次利用可能な形（二次利用が可能な利用ルールかつ機械判読に適したデータ形式での公開）で民間へ開放することにより、行政機関自身がサービスを提供しなくても、民間主導でネットワークを通じた多様な公共サービスが創造が促進されます。オープンデータの推進により、行政の透明性・信頼性の向上、住民参加・官民協働の推進、経済の活性化・行政の効率化が三位一体で進むことが期待されます。今月は、道内の、そして日本のオープンデータ活用推進を牽引している喜多さんに存分に語っていただきます。

◎オンライン研究会とは 北海道自治体学会が、コロナ禍のもと、会員や研究者、市民の皆さんの交流と研鑽の場を目指して2020年にスタートしたZoomを使った研究会です。参加は無料。原則毎月開催。統一テーマは「ポストコロナの自治」としています。研究会終了後は、オンライン交流会開催（自由参加）。



申込は

参加者には、使用するアプリZoomのリンクをお知らせします。

◎定員：50人 どなたでも参加できます

◎申込先 <https://forms.gle/3dewW93i9sKSeVho8> (QRコードからも)

◎締め切り 12月14日(火)

◎問い合わせ 運営委員(吉田) E-mail:fwgd5404@jcom.zaq.ne.jp

